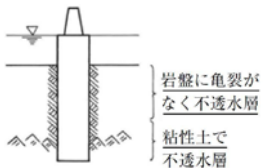
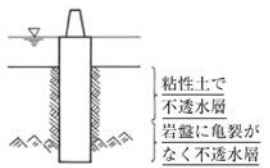


ページなど	誤	正	備考	摘要
P11 1.6.2解説	4行目 …長期の通行止めをせざるを得ないような状態や架け替えを余儀なくされる損傷を生じた状態である。	…長期の通行止めをせざるを得ないような状態や架け替えを余儀なくされる損傷を生じた状態も含まれている。	である→も含まれている	第2刷で修正
P21 2.2.2解説	6行目 これを平成5年度改訂以前…	これを平成5年度改定以前…	訂→定	第2刷で修正
P44 2.2.5解説	図-解2.2.16 図中 連続桁とするために接合する	連続桁とするために結合する	接→結	第2刷で修正
P50 2.2.7	2行目 …深さとする__	…深さとする。	「。」の追加	第2刷で修正
P51 2.2.7解説	解2.2.17 $= K \cdot v_f^2 \cdot \frac{B'_a + B'_b}{2} \cdot H_f (\text{洪水時})$	$= K \cdot v_f^2 \cdot \frac{B_a + B_b}{2} \cdot H_f (\text{洪水時})$	$B'_a \rightarrow B_a$ $B'_b \rightarrow B_b$	第2刷で修正
P51 2.2.7解説	下から3、4行目 B_a , B'_a : a又はa'における躯体の幅(m) B_b , B'_b : b又はb'における躯体の幅(m)	下から3、4行目 B_a , B_a : a又はa'における躯体の幅(m) B_b , B_b : b又はb'における躯体の幅(m)	$B'_a \rightarrow B_a$ $B'_b \rightarrow B_b$	第2刷で修正
P53 2.2.8解説	図-解2.2.21(a) 図中 		図の修正	第2刷で修正
P63 2.2.9解説	表-解2.2.6 表外 … $S_h \leq 1.5B_2$ かつ $S_v \leq 2.5D_1$ の場合に考慮する。	表-解2.2.6 表外 … $S_h \leq 1.5B_1$ かつ $S_v \leq 2.5D_1$ の場合に考慮する。	$B_2 \rightarrow B_1$	※第3刷で修正
P73 3.1	表-3.1.1 表中 2) 鋼管 JIS G 3444 一般構造用炭素鋼管	一般構造用炭素鋼管	「鋼」の追加	※第3刷で修正

※については、I・IIIコンクリート橋編のみ次回の増刷時に修正

ページなど	誤	正	備考	摘要
P74 3.1	表-3.1.1 表中 4)溶接材料 JIS Z 3352 炭素鋼及び低合金鋼用サブマージアーク溶接フラックス	サブマージアーク溶接用フラックス	「炭素鋼及び低合金用鋼用」の削除及び「用」の追加	※第3刷で修正
P75 3.1解説	10行目 一般構造用炭素鋼管	一般構造用炭素鋼鋼管	「鋼」の追加	※第3刷で修正
P75 3.1解説	表-解 3.1.1 表中 一般構造用炭素鋼管	一般構造用炭素鋼鋼管	「鋼」の追加	※第3刷で修正
P76 3.1解説	13行目 …除去することが必要である。 また、炭素鋼用サブマージアーク溶接材料…	…除去することが必要である。 軟鋼、高張力鋼及び低温用鋼用の溶接材料については、JIS Z 3312に規定されている。また、JIS Z 3313も使用することができる。 また、炭素鋼用サブマージアーク溶接材料…	「軟鋼、高張力鋼及び低温用鋼用の溶接材料については、JIS Z 3312に規定されている。また、JIS Z 3313も使用することができる。」の追加	次回の増刷時に修正 2014/5/1 正誤表修正
P79 3.2解説	表-解 3.1.4 表中 表-解 3.1.4 鉄筋コンクリート用棒鋼の機械的性質	表-解 3.1.4 鉄筋コンクリート用棒鋼の機械的性質	表の修正	※第3刷で修正

記号	引張試験			曲げ性		
	降伏点又は0.2%耐力 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	引張試験片	伸び (%)	曲げ角度	内側半径
SR235	235 以上	380~520	2号 3号	20 以上 24 以上	180°	公称直径の 1.5 倍
SD295A	295 以上	440~600	2号に準じるもの 3号に準じるもの	16 以上 18 以上	180°	D16 以下 公称直径の 1.5 倍 D16 を超えるもの 公称直径の 2 倍
SD295B	295~390	440 以上	2号に準じるもの 3号に準じるもの	16 以上 18 以上	180°	D16 以下 公称直径の 1.5 倍 D16 を超えるもの 公称直径の 2 倍
SD345	345~440	490 以上	2号に準じるもの 3号に準じるもの	18 以上 20 以上	180°	D16 以下 公称直径の 1.5 倍 D16 を超え D41 以下 公称直径の 2 倍 D51 公称直径の 2.5 倍
SD390	390~510	560 以上	2号に準じるもの 14号Aに準じるもの	16 以上 17 以上	180°	公称直径の 2.5 倍
SD490	490~625	620 以上	2号に準じるもの 14号Aに準じるもの	12 以上 13 以上	90°	D25 以下 公称直径の 2.5 倍 D25 を超えるもの 公称直径の 3 倍

記号	引張試験			曲げ性		
	降伏点又は耐力 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	引張試験片	伸び (%)	曲げ角度	内側半径
SR235	235 以上	380~520	2号 14A号	20 以上 22 以上	180°	公称直径の 1.5 倍
SD295A	295 以上	440~600	2号に準じるもの 14A号に準じるもの	16 以上 17 以上	180°	D16 以下 公称直径の 1.5 倍 D16 を超えるもの 公称直径の 2 倍
SD295B	295~390	440 以上	2号に準じるもの 14A号に準じるもの	16 以上 17 以上	180°	D16 以下 公称直径の 1.5 倍 D16 を超えるもの 公称直径の 2 倍
SD345	345~440	490 以上	2号に準じるもの 14A号に準じるもの	18 以上 19 以上	180°	D16 以下 公称直径の 1.5 倍 D16 を超え D41 以下 公称直径の 2 倍 D51 公称直径の 2.5 倍
SD390	390~510	560 以上	2号に準じるもの 14A号に準じるもの	16 以上 17 以上	180°	公称直径の 2.5 倍
SD490	490~625	620 以上	2号に準じるもの 14A号に準じるもの	12 以上 13 以上	90°	D25 以下 公称直径の 2.5 倍 D25 を超えるもの 公称直径の 3 倍

※については、I・Ⅲコンクリート橋編のみ次回の増刷時に修正

ページなど	誤	正	備考	摘要
P80 3.1解説	1行目 今回の改訂では、…	今回の改定では、…	訂→定	第2刷で修正
P92 4.1.2解説	15行目 許容応力度の割増し係数を…	許容応力度の割増係数を…	割増し係数→割増 係数	第2刷で修正
P97 4.1.4解説	8行目 今回の改訂では、…	今回の改定では、…	訂→定	第2刷で修正